

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)			訪問国	アメリカ合衆国
学校名	静岡県立静岡高等学校	氏名	山本蒼甫	学年	2年

サンフランシスコにある Japanese tea garden を訪れサンフランシスコと日本文化の結び付きについて調査した。またサンフランシスコのジャパントウンにある Japanese center 内の「Cha-to」というお茶屋さんの一角を借りて煎茶のお点前を披露したり、お茶製品についてまとめたポスターを渡してお茶製品について説明したりした。イベントには合計で11カ国、24名の方が参加してくださり、イベント後に参加者を対象に行ったアンケートでは日本茶の知名度の高さや、想像以上に日本茶の味が海外の方々にも受け入れられており日本茶に親しみを持ってもらえていたことが分かった。

今後の活動の予定としてまずは地元静岡を中心にお茶の魅力を広めていこうと思い、3/22に OMACHI という場所で静岡で世界と日本のお茶の紹介をした上でそれらをブレンドし自分だけのお茶を作ってもらうイベントを Fuji's teens という静岡のトビタテ生で構成された学生団体で実施する予定。イベント内ではふじのくにジュニアお茶マイスターとしてお茶の成分や効能などについて来場された方々に説明することに加え、煎茶のお点前も行い静岡の方々へも「見るお茶」の魅力を伝えていくつもりである。



正直もう少し大きな規模のイベントを行いたかったという後悔はある。当初は現地のお茶企業もいくつか呼んでマルシェを行おうと思っていたが、現地の治安悪化の影響でマルシェを行

うほど広い場所を借りてイベントを高校生のみで行うことが危険だという判断と、それまでマルシェのようなイベントを行った経験がなかったことから規模を縮小して自分たちだけで行うイベントを実施することになった。しかし今回の留学でイベントの経験を獲得できたため次は治安を調査した上で場所を確保できればマルシェのような大型企画も行うことができるのではないかと考えている。

日本茶の味は繊細すぎる上苦味もあるため海外の方々には受け入れられにくいのかと思っていたが、実際はその繊細さや苦味も楽しんでくださる方が多かった。またお茶を使った製品についても独創的かつ実用的でとても興味深いと評価していただけたため、これらのリアクションをもとに新たな対外国のお茶製品の開発及び提案を今後静岡のお茶企業に行っていくことで市場開拓をしていけるだろうと感じた。

